

# 2026年3月期 第1四半期決算補足資料

---

株式会社IMAGICA GROUP  
証券コード：6879

2025年7月31日

IMAGICA  
GROUP

2026年3月期=2025年度

©Copyright IMAGICA GROUP Inc.

# 決算ハイライト

- 前年度に人員整理を実施した海外事業の回復に主に支えられ増収増益

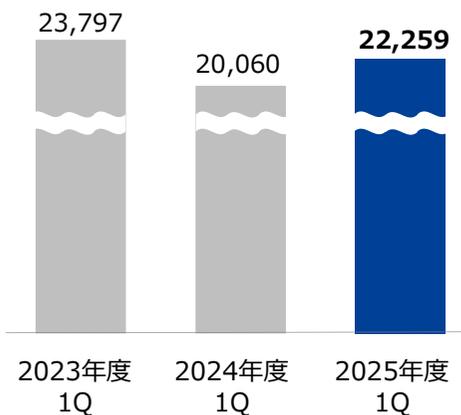
(百万円)

## 売上高

**22,259**

前年増減額

**2,198 (11.0%)**

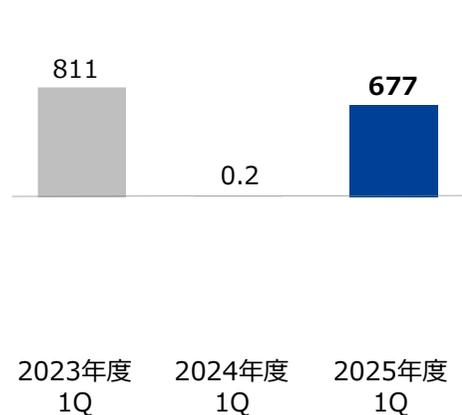


## 営業利益 (のれん等償却前)

**677**

前年増減額

**677 (279956.7%)**

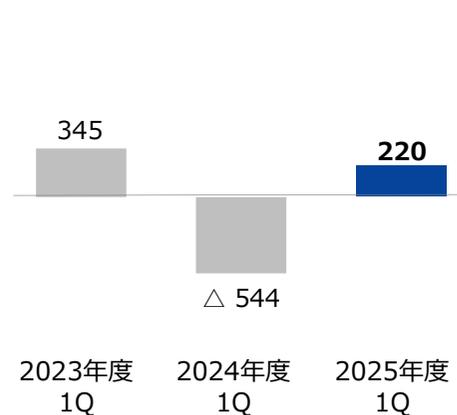


## 営業利益

**220**

前年増減額

**764 (-)**

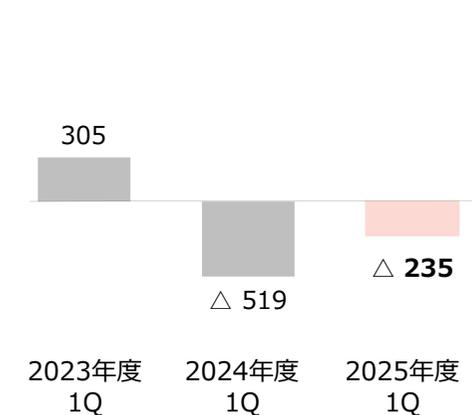


## 親会社株主に帰属 する四半期純利益

**△ 235**

前年増減額

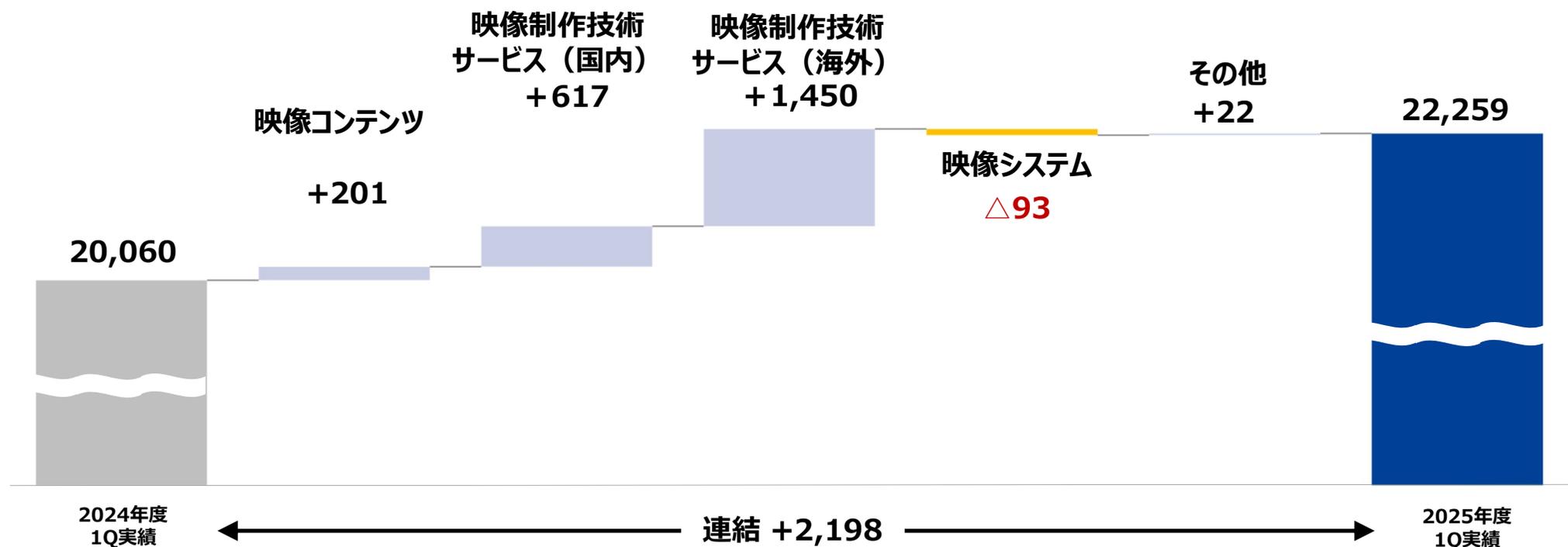
**284 (-)**



# 売上高 前年増減分析

- 国内事業は映像制作技術サービスと映像コンテンツで増収
- 海外事業はローカライズの受注が回復し増収

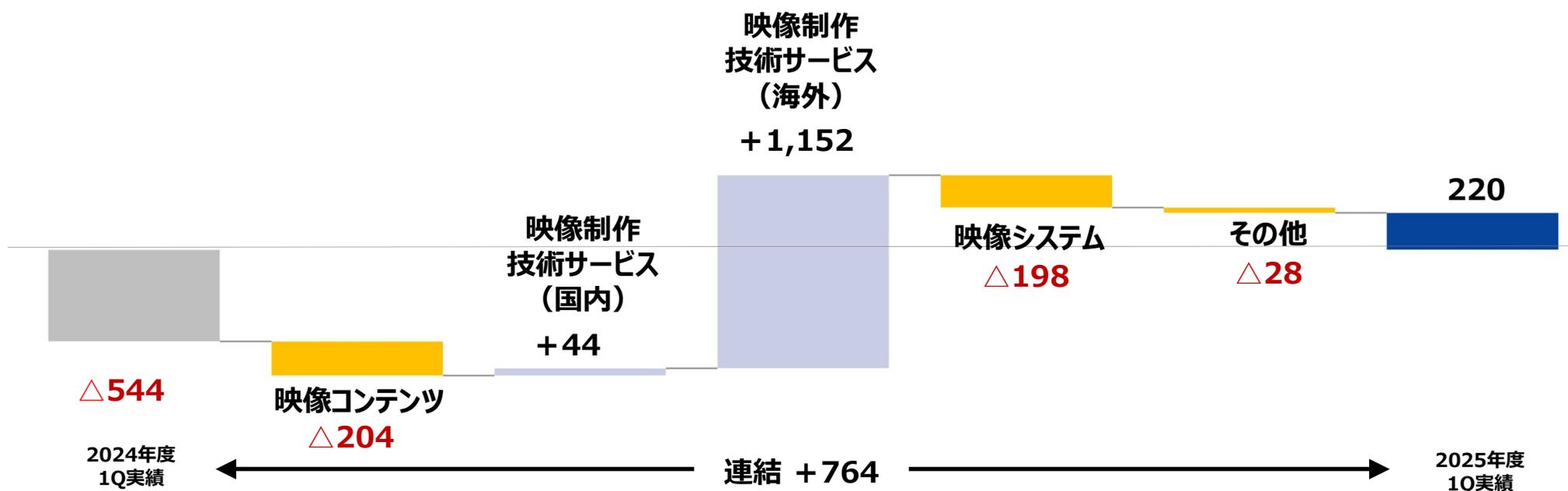
(百万円)



# 営業利益 前年増減分析

- 国内事業は映像コンテンツと映像システムで減益
- 海外事業は増収に伴う利益増に加え、前年度に実施した人員整理によるコスト削減効果もあり、増益

(百万円)

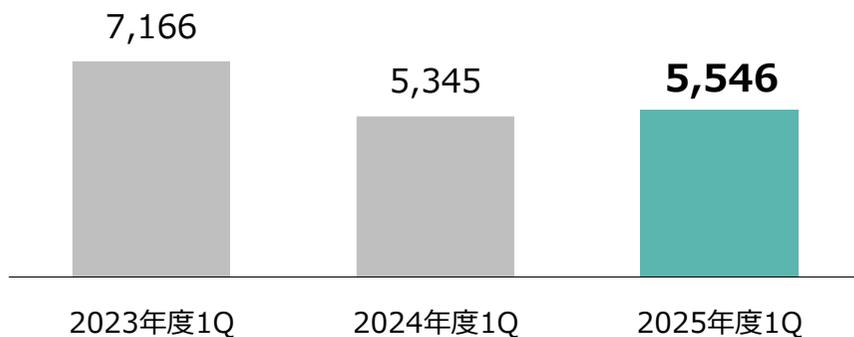


# 映像コンテンツ事業

- ・劇場映画・ドラマ作品やアニメーション制作は増収も、CM制作および出版は前年度に比べ低調に推移し、増収減益

<売上高>

(百万円)



<営業利益>



## 増収減益

売上高 (増収) +201 (+3.8%)

営業利益 (減益) △204 (△42.5%)

### 劇場映画・ドラマ作品

・前年度を上回る作品数を計上したことにより増収

### アニメーション制作

・案件増による受注の好調等により増収

### 出版

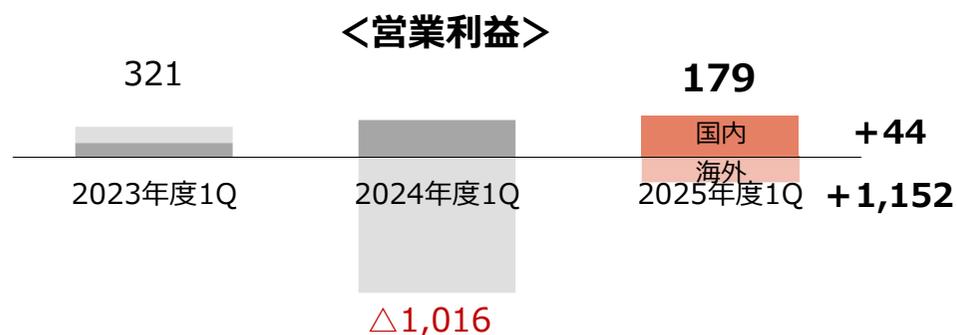
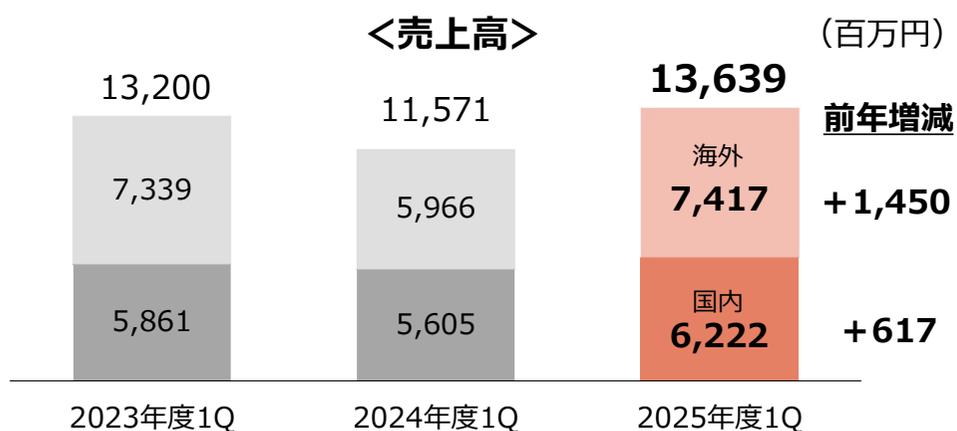
・ライトノベル「薬屋のひとりごと」等を中心とした書籍販売が減収も、前年度平均並の売上は維持

### CM制作

・CM制作は受注が低調に推移

# 映像制作技術サービス事業

- 海外事業はローカライズの受注回復に加え前年度に実施した人員整理によるコスト削減効果もあり増収増益、国内事業はゲーム関連事業等が好調



## 増収増益

売上高 (増収)	+2,067 (+17.9%)
営業利益 (増益)	+1,196 (-)

### E2Eサービス (国内)

・アニメ向け編集サービス、デジタルシネマ向け等が堅調

### ゲーム関連事業

・子会社の吸収合併や制作スタジオの新設等によるゲーム3DCG制作事業の拡大により増収

### ポストプロダクション事業

・TV事業からの撤退を決定したことにより当該事業の受注が大きく減少

国内

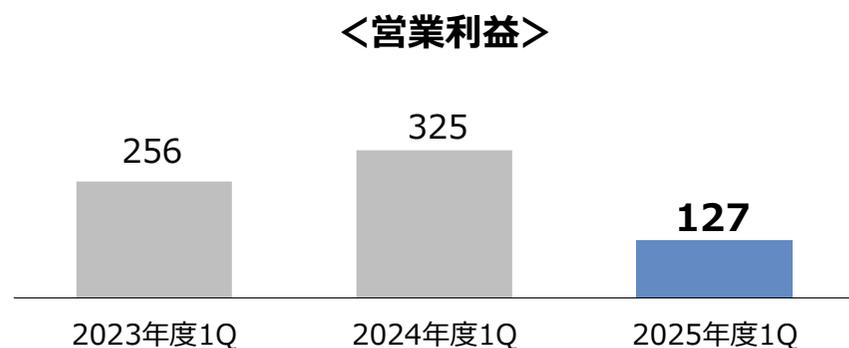
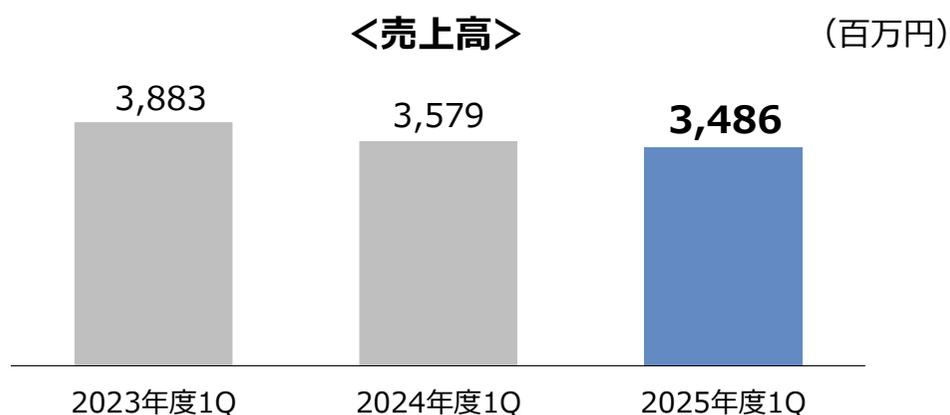
### E2Eサービス (海外)

・ローカライズの受注が前年度から回復し増収  
 ・増収に伴う利益増に加え、前年度に実施した人員整理によるコスト削減の効果もあり増益

海外

# 映像システム事業

- 映像・画像処理LSIが増収も、ハイスピードカメラが前年度計上の大型案件の反動により減収



## 減収減益

売上高 (減収)	△93 (△2.6%)
営業利益 (減益)	△198 (△60.9%)

## ハイスピードカメラ

・前年度に計上した欧州における大型案件の反動により減収

## 映像・画像処理LSI

・海外向けの需要が増加し増収

**Appendix.**

# 連結損益計算書

(百万円)	2024年度1Q 実績	2025年度1Q 実績	前年増減額	前年増減率
売上高	20,060	22,259	2,198	11.0%
売上総利益	5,887	6,583	696	11.8%
(利益率)	29.3%	29.6%		
営業利益	△ 544	220	764	—
(利益率)	-	1.0%		
経常利益	△ 498	139	637	—
(利益率)	-	0.6%		
特別利益	0	49	49	459853.4%
特別損失	0	5	4	1189.7%
税金等調整前当期純利益	△ 498	183	682	—
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 519	△ 235	284	—
EBITDA	739	1,456	716	96.9%
(参考)営業利益 (のれん等償却前)	0.2	677	677	279956.7%

※EBITDA = 営業利益 + のれん償却 + 商標権他無形固定資産償却 + 減価償却費

※営業利益 (のれん等償却前) = 営業利益 + のれん償却 + 商標権他無形固定資産償却

# 連結貸借対照表

(百万円)	2025年3月末*	2025年6月末	増減額	主な増減要因
<b>資産の部</b>				
流動資産	<b>48,672</b>	<b>46,304</b>	<b>△2,367</b>	受取手形、売掛金及び契約資産 △7,612 棚卸資産 +1,923
うち現預金	6,515	9,022	2,507	
固定資産	<b>32,047</b>	<b>31,098</b>	<b>△ 948</b>	
うちのれん	8,220	7,474	△ 745	
<b>資産合計</b>	<b>80,719</b>	<b>77,403</b>	<b>△ 3,316</b>	
<b>負債・純資産の部</b>				
流動負債	<b>36,890</b>	<b>35,033</b>	<b>△1,857</b>	契約負債 +2,635 支払手形及び買掛金 △1,411 未払法人税等 △1,268
うち短期借入金	8,475	7,457	△1,017	
固定負債	<b>7,674</b>	<b>7,139</b>	<b>△ 535</b>	
うち長期借入金	1,985	1,706	△ 278	
<b>負債合計</b>	<b>44,565</b>	<b>42,172</b>	<b>△2,393</b>	
株主資本	28,955	28,114	△ 841	
その他包括利益累計額	5,584	5,517	△67	
非支配株主持分	1,613	1,599	△14	
<b>純資産合計</b>	<b>36,154</b>	<b>35,231</b>	<b>△922</b>	
<b>負債純資産合計</b>	<b>80,719</b>	<b>77,403</b>	<b>△3,316</b>	
ネット資金	<b>△ 3,945</b>	<b>△ 141</b>	3,803	(現預金－長短期借入金)

# 事業セグメント別 連結子会社一覧（2025年6月末現在）

\*：海外子会社

## 映像コンテンツ事業

連結子会社：9社

株式会社ロボット

株式会社ピクス

株式会社オー・エル・エム

株式会社オー・エル・エム・デジタル

株式会社オー・エル・エム・ベンチャーズ

株式会社イマジカインフォス

株式会社IMAGICA EEX

## 映像制作技術サービス事業

連結子会社：20社

株式会社IMAGICAエンタテインメントメディアサービス

株式会社シネマコネクト

Pixelologic Holdings LLC\*

PPC Creative Limited\*

株式会社IMAGICA Lab.

株式会社IMAGICAコスモスペース

株式会社ウェザーマップ

株式会社IMAGICA GEEQ

## 映像システム事業

連結子会社：8社

株式会社フォトロン

フォトロン メディカル イメージング株式会社

PHOTRON USA, INC. \*

PHOTRON EUROPE LIMITED\*

アイチップス・テクノロジー株式会社

株式会社 IP モーション

株式会社フォトニックラティス

# 会社概要

## 経営理念

私たちは、誠実な精神をもって新たな価値創造につとめ、  
世界の人々に「驚きと感動」を与える  
映像コミュニケーショングループを目指します。



会社名	株式会社IMAGICA GROUP
代表者	代表取締役社長 社長執行役員 長瀬 俊二郎
設立	1974年6月10日（創立：1935年2月18日）
本社	〒105-0022 東京都港区海岸一丁目14番2号
連結子会社	37社（2025年3月31日現在）
資本金	33億6百万円
事業内容	映像コンテンツ事業、映像制作技術サービス事業、 映像システム事業等を営むグループ会社の事業の統括
従業員数	4,222名（1,364名）（2025年3月31日現在） ※従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は()内に外数で記載しております
連結売上高	969億10百万円（2025年3月期）

# お問い合わせ先

株式会社IMAGICA GROUP

経営戦略部

Email : [ir@imagicagroup.co.jp](mailto:ir@imagicagroup.co.jp)

URL : <https://www.imagicagroup.co.jp/>

X (旧Twitter) : <https://twitter.com/IMAGICAGROUP>

## 【将来予測について】

本資料に記載されている当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。